

金澤北ロータリークラブ

1991年12月5日 第452号

例会日：木曜日 12:30～13:30
 例会場：金沢市東山1-38-30・松魚亭
 TEL<0762>52-2271 FAX52-2273
 事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所
 TEL<0762>22-2525 FAX24-2882
 会長：中村 三次 幹事：木村 丹二
 情報委員長：長谷川 壘人 会員86名

ロータリー財団に注目しよう。

国際ロータリー第2610地区

R財団委員長 飯野 健志

1918年R・I第6代会長、アーチ・クランフ氏によって提唱され、ひとにぎりの寄付金で始められたロータリー財団は、今や75周年を迎え、その基金への寄付額も急速に増大し、その活動は、ロータリーの顔といえるほど目ざましく、世界中の人々の畏敬の念を集めています。しかしながらその反面、大へん残念なことです、ロータリークラブ会員自身に未だその組織や実際の活動についてよく理解されていないと思われる点が多くあることです。一般寄付（かつての無条件寄付）のために、毎年毎年ポール・ハリス・フェロー寄付をはじめとして多額の寄付を頂いていながら、その浄財がどのようにして世界理解と平和、英才の教育のために使われているか？を全く御存じなく過ごされていることは本当に残念に思われてなりません。またこのことは、今後のロータリー財団の運営のためにも大きな障害となると考えられますので、一人一人のロータリアンが、もう一度ロータリーの精神の原点に戻って、ロータリー財団が行っている、このプロジェクトを見直して頂きたいと思うのです。ポリオ・プラス運動は大きな成果を残して終止致しました。そのために、多くの寄金が、この方に流れて（税務控除効果の影響）無条件寄付が著しく減少し、財団の活動が著しく減殺されてしまったことは、今までお聞きになった方も多いと思います。その結果、ロータリー財団奨学生数の枠が、大変狭められ、多くの優秀な人材が海外留学の機会を失いました。ポリオ・プラスの枠が、完全に終了し、所期以上の目的を達成した今日、本来の目的に従った財団国際親善奨学生（今期より呼称変更）の一人でも多くの枠獲得のために、尚一層の御協力をお願い致したいと申し上げる次第でございます。我が金沢北クラブは、市内他のクラブと同様に、R財団寄付につきましても、また米山記念奨学会寄付においても、地区内優秀クラブとして、常に他クラブより賞賛された寄付実践を誇って参りましたが、この十年間の成績は、ややその先進性を失ったかの感が見えるような気が致します。市内他クラブから、あらゆる点で、優れた品格の高いクラブとして特別に畏敬されてきた、わがクラブの品位、風格を、これ以上劣化させないためにも、一人一人の会員の大きな御翻意を敢てお願い致す所存でございます。本年は十数年ぶりに、G・S・Eを四津谷直前ガバナーが提唱され、イギリス国パーミンガム地区へ、稲垣英一リーダー（富山南ロータリー会員）をはじめとする五名の若い男性が、研修のために出発しており、約六週間の滞在（ホームステイ）の後、十一月初旬帰着される予定です。そしてそのお返しとして、イギリスパーミンガム地区から、来春四月に当地区へG・S・Eチームが来訪します。ホームステイでの約一カ月のチーム一

人一人を迎えるべく、皆様には宜しく御熱意をもって御協力下さいますようお願い申し上げます。時代の変化と共に、我々のロータリーも逐時、その体系を進歩発展しつつあります。何卒諸賢におかれましては、ロータリー会員としての名に恥じぬよう、ロータリー本来の目的と活動を再認識して頂きまして、脱マンネリ、脱保守の勢いを再び我がクラブにもたらされますよう伏してお願い申し上げます。ご了承下さい。



第9回金沢市少年柔道錬成大会

社会奉仕委員会 長原 俊之

去る、平成3年11月10日に金沢北ロータリークラブ主催の金沢市少年柔道錬成大会に参加しました。チビッコ柔道大会と言ってもいい位かわいいチビッコ男女が50名開催前よりジット見つめていましたらもう寒い時期なのに汗一杯かきながら基本練習、型、段取りし乱取りの稽古に余念がありません。

又、会場に北信越柔整専門学校柔道場（「ヴィラ健全道場」木島先生が新築され最初の初試合大会が開催されました）で行われ新しい気持ちの良い道場でした。小学4年5年6年、そして女子の部、中学校の部では団体戦が行われ、それぞれの優勝者へ記念品を贈りました。若いエネルギーを柔道に非常にすばらしく感激致しました。自分の30年前少し柔道をかじった時のことが思い出しました。今後共、第10回の大会が開催される事が楽しみです。

◇中学団体 ①浅野川②兼六

◇小学個人 4年①三輪(岩井)

②宇野(岩井)

③辻(岩井)、松本(木島)

5年①交告(岩井)

②宇野(岩井)

③山崎(木島)

6年①鈴木(岩井)

②山崎(猛)(岩井)

③藤本(木島)、竹林(岩井)

◇女子の部 ①堺(岩井)

②大和田(岩井)

③前(浅野川)、村井(浅野川)



私の名刺

沢田 光夫



此度は伝統ある当金沢北ロータリークラブに入会を御許可頂き有難うございました。入会に際し一言御挨拶させていただきます。

私は昭和25年生まれの41才になったところです。生まれも、育ちも金沢です。6年前に金沢医科大学の職を辞し、祖父並びに父の跡を次いで同じく皮膚科を専門に診療に従事させて頂いております。以来今年で6年目になり皆様方のお陰様で、開業医としての道も少し分ってまいりました事はただ感謝でございます。平成の御代となり平均寿命が約80才ですが、考えてみますに若い若いと思っておりましたが早その折り返し点も過ぎました。いよいよこれから更に真剣に生きてゆかねばと己に言い

聞かせております。元来医師というものは経済界で御活躍のお方に比し、どちらかというところ“井の中の蛙”の感じがあり交際範囲が狭い感じがします。(開業医は時間的に自由がきかぬ一縛られるからと思います。)医学は日進月歩といわれますが、高齢化社会を迎えた現在医療をとりまく環境も過渡期でいろいろな問題があるようです。外面的にはまづ人材確保は医療のみでなくどの職種についても重要な問題となっており、明るく魅力ある職場にしていく事が必要かと存じます。その意味からも経営管理の合理化、情報・サービス面の充実も問われている世の中かと思えます。内面的に言えば医師の人間性に関しても“患者さんの痛みのわかる人”あるいは“暖かみのある医者”になる事だと思えます。このような時丁度先輩のお方にロータリーへの入会を勧められました。

私如き者がお仲間にとためらいも致しましたが、これを機会に一段と聖業に励む様つとめます。人に言わせれば40才はまだ“鼻たれ小僧”と申す人もおられます。私もまだまだ人間的に未熟と自覚しております。これから当会でいろいろな人生の先輩皆様方のお話をお聞かせ頂いたり交流させて頂き、また薄学ではございますが私の知りえる事をお知り頂きまして今までお世話になった皆様や日常多く接する患者様への治療に少しでも役立てる事に努力致したいと存じます。

なお当会入会に際し推薦頂きました、米沢真二様、佃一成様、そして研修等の御指導をして頂きました土原一二様、塩村喜代次様にはこの紙上をお借りしまして厚く御礼申し上げます。今後は皆様の末席に加えて頂きまして名誉ある当会の一員である自覚をもちまして活動致したいと存じます。つたない文章ですが自己紹介並びに御挨拶に変えさせていただきます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。



